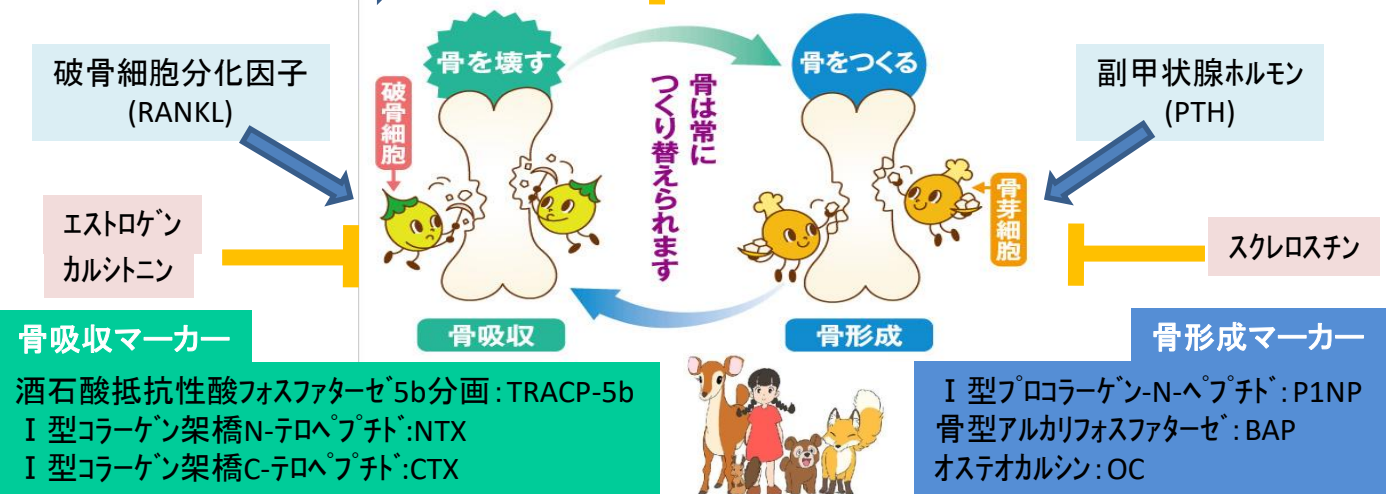


朝ドラ100作目の「なつぞら」が終わり、101作目の「スカーレット」が始まりましたね。「なつぞら」には数々の名言がありました。草刈正雄が演じる北海道開拓者1世が、東京に漫画映画を夢見て旅立つ広瀬すず演じる奥原なつに放った言葉もその一つ。「漫画か映画か知らんが・・・東京を耕してこい！開拓してこい」と人生における開拓精神を伝えます。仕事をする人の心や骨にしみる名言だったように思います。見てない方はNHKオンデマンド、ダイジェストならYouTubeで無料にてご覧いただけます(笑)。

今回は骨の話題。治療薬が次々と開発され、折れる前に介入することが必要な時代になってきています。誰もが避けて通れない骨の衰え。どうして骨が悪くなるのかなどすこし復習してみましょう。

骨は破骨細胞と骨芽細胞が破壊と生成を繰り返し劣化した骨を常に新しい状態に維持しようとしています。骨のピークは男女ともに25-30歳がピーク。女性は閉経すると骨密度の低下が加速します。近年の研究でそれぞれに、促進因子(➡)と抑制因子(⊥)があることがわかり、治療薬が開発されています。



腎機能に影響されないP1NP TRACP-5b BAPが汎用性があります

骨粗鬆症の診断ってどうするの？

- ①大腿骨近位部、椎体骨に脆弱性骨折があれば一発診断。
- ②その他の脆弱性骨折ならば+骨密度YAM値80%未満で診断。
- ③骨密度検査でYAM値70%以下orT-score-2.5SD以下で診断。

YAM: Young(若者) Adult(大人) Mean(平均)



透析患者にはエディロール以外は慎重投与、ベネットに関しては禁忌なので薬剤の選択は慎重に！

骨粗鬆症ガイドライン2015参照

骨粗鬆症薬	分類	効果	椎体骨	大腿骨近位部	骨量変化	注意点
エディロール	VitD製剤	Ca吸収促進	○	×	3.4%(3年)	高Ca血症
グラケp	VitK製剤	骨形成促進	△	×	1-2%	ワーファリン禁忌
エビスタ ビビアント	SERM	骨吸収抑制	○	×	2.5%(4年)	深部静脈血栓症
ボナロン フォスマック	2世代BP		○	○	6.4%(1年)	
ベネット アクトネル	3世代BP		○	○	6.0%(1年)	胃腸障害 顎骨壊死
ボンビバ	注射BP		○	×	9.2%(3年)	
プラリア	抗RANKL抗体	骨形成促進	○	○	13%(5年)	低Ca血症 顎骨壊死
フォルテオ テリボン	PTH製剤		○	×	9-12%(2年)	
イベニティ	Scl-Ab	骨形成促進 骨吸収抑制	○	○	13%(1年)	低Ca血症、顎骨壊死、CVD リスク、使用期限1年

選択的エストロゲン受容体モジュレーター: SERM ビスフォスフォネート: BP 抗スクレロチン抗体: Scl-Ab

椎体骨折は50歳、大腿骨骨折は70台から増加するので高齢者には両方に効果がある薬剤を選択したいですね。

これらの一覧表は、看護部門およびもろもろフォルダのGYO-KAInewsから閲覧できます。 文責 上野